

コロナ期日本の働き方、 家計のレジリエンス格差

14:30-16:50

視聴無料（要申込）

労働政策研究・研修機構（JILPT）と、慶應義塾大学経済学部附属経済研究所パネルデータ設計・解析センター（PDRC）は、それぞれ、新型コロナウイルス関連のプロジェクトの研究成果を取りまとめた書籍を刊行します。本セミナーでは、研究プロジェクトにおける問題意識を解説するとともに、ウェルビーイング・レジリエンス・格差に焦点を当てて、書籍に掲載している研究成果の一部をご報告いたします。コロナウイルス蔓延から3年。私たちの働き方やウェルビーイングは大きな影響を受けてきました。何が変わり、何が変わらなかったのか？教訓や残された課題について議論します。

プログラム ※事情によりプログラムが変更となる場合があります。予めご了承ください。

14:30- 開会

14:35-15:35 **パート1 『コロナ禍と家計のレジリエンス格差』**

山本 勲・石井加代子・樋口美雄 [編著] 令和5年3月刊行予定、慶應義塾大学出版会

書籍の概要紹介

山本 勲 慶應義塾大学 商学部 教授

研究報告1 「子育て支援とレジリエンス：休園・休校のストレスへの影響」

直井 道生 慶應義塾大学 経済学部 教授

研究報告2 「コロナ禍におけるウェルビーイング格差」

石井加代子 慶應義塾大学経済学部特任准教授

質疑応答

15:35-16:35 **パート2 『検証・コロナ期日本の働き方—意識・行動変化と雇用政策の課題—』**

樋口美雄 / 労働政策研究・研修機構 [編] 令和5年3月刊行予定、慶應義塾大学出版会

書籍の概要紹介

樋口 美雄 労働政策研究・研修機構 理事長

研究報告1 「コロナ禍の働き方変化とウェルビーイング」

高見 具広 労働政策研究・研修機構 主任研究員

研究報告2 「コロナショックにおける「レジリエンス」

鈴木 恭子 労働政策研究・研修機構 研究員

質疑応答

16:35-16:50 **閉会挨拶「教訓・残された課題」**

樋口 美雄 労働政策研究・研修機構 理事長

山本 勲 慶應義塾大学 商学部 教授

お申込みはウェブから <https://www.jil.go.jp/tokusyuu/covid-19/event/sm230317/>

共催 労働政策研究・研修機構（JILPT）

慶應義塾大学経済学部附属経済研究所パネルデータ設計・解析センター（PDRC）

お問合せ先：JILPT 研究調整部 セミナー事務局 workshop0905@jil.go.jp

コロナ禍と家計のレジリエンス格差

山本 勲, 石井 加代子, 樋口 美雄 編

何が危機対応力（レジリエンス）の差を生み出すのか

コロナ禍でも感染予防と経済活動を両立させ、ショックと社会の変容からいち早く回復した人々と、回復できずに苦しんでいる人々では、何が異なるのか？ どんな世帯でダメージが大きかったのか？ 日本を代表する家計パネルデータを用いて家計、働き手、消費者の行動にどのような差異が生じたのかを分析し、予測困難な時代に必要な家計行動、働き方、危機対応、政策対応とは何かを明らかにする、コロナ禍に焦点を当てた実証的研究。

- ◆日本の家計はコロナショックでどう揺れ動いたのか？ レジリエンス（ショックからの回復力）格差に焦点を当て、不確実性の高い時代に必要な行動と政策を探る。
- ◆コロナ前から継続調査している家計パネルデータを用い、コロナ禍が家計・労働者・消費者の生活や意識をどう変化させたかを詳細に把握。その分析結果をもとに、生活水準の変化、働き方や価値観の変容、心のケアや子育ての意識などへの影響を明らかにする。「家計と格差分析」の第一級研究。



A5 判／上製／248 頁
初版年月日：2023 年 3 月 20 日
ISBN：978-4-7664-2879-7
定価 4,400 円（本体 4,000 円）

検証・コロナ期日本の働き方

意識・行動変化と雇用政策の課題

樋口 美雄 / 労働政策研究・研修機構 編

短期間で激変した個人・企業のデジタル化・多様化の軌跡を追う！

コロナウイルス蔓延から 3 年。この間、人々の働き方やウェルビーイング（幸福度）に対する意識、企業の経営マインド、新技術の導入など、経済社会に広汎な影響を及ぼした。何が変わり、何が変わらなかったのか。専門家がさまざまな角度から変化の軌跡と雇用・労働政策の課題を明示した、わが国コロナ期労働市場の総合的分析。

- ◆「コロナ」は人々の働き方や生活意識、企業経営、労働市場に何をもたらしたのか？ 個人と企業の連続したパネル調査から、災禍前後の変化を読み解く。
- ◆コロナ禍が国民に与えた影響は様々だが、各種格差の固定化や人々の意識変化については、回復過程でのより詳細な研究が必要となっている。この状況を受けて本書では、経済社会における多様化の進展状況を分析。労働市場での格差拡大、将来に対する不確実性への不安拡大の実態について詳らかにする。



A5 判／上製／368 頁
初版年月日：2023 年 3 月 29 日
ISBN：978-4-7664-2885-8
定価 5,280 円（本体 4,800 円）

慶應義塾大学出版会または各書店にてお求めになれます

<https://www.keio-up.co.jp/np/index.do>